

こう つう
交通バリアフリーから

い
ともに生きる
しゃ かい まな
社会を学ぼう!



い
だれでも いつでも 行きたいところへ



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

だれでも いつでも

わたし す
私たちが住んでいるまちには、
ひと
「さまざまな人」がいます。
あんぜん あんしん く
だれもが安全、安心に暮らせることは、
たいせつ
とても大切なことです。
ほん わたし
この本では、私たちができること
こころ かんが
(心のバリアフリー)を考えます。
せいかつ み ぢか の もの
生活に身近な「まち」や「乗り物」には、
く ふう
さまざまな工夫がされているので、
まな
それをみんなで学んでみましょう。

で
まちに出てみよう。

P3

く ふう わたし
まちの工夫と私たちにできること。

P5

く ふう み
まちにある工夫を見てみよう。

P7

えき い
駅に行ってみよう。

P9

えき く ふう わたし
駅の工夫と私たちにできること。

P11

えき く ふう み
駅にある工夫を見てみよう。

P13



い 行きたいところへ



の もの 乗り物にはこんな工夫くふうがあるんだよ。

P15

さまざまな人ひとがいて、
不便ふべんに感じていることもいろいろです。

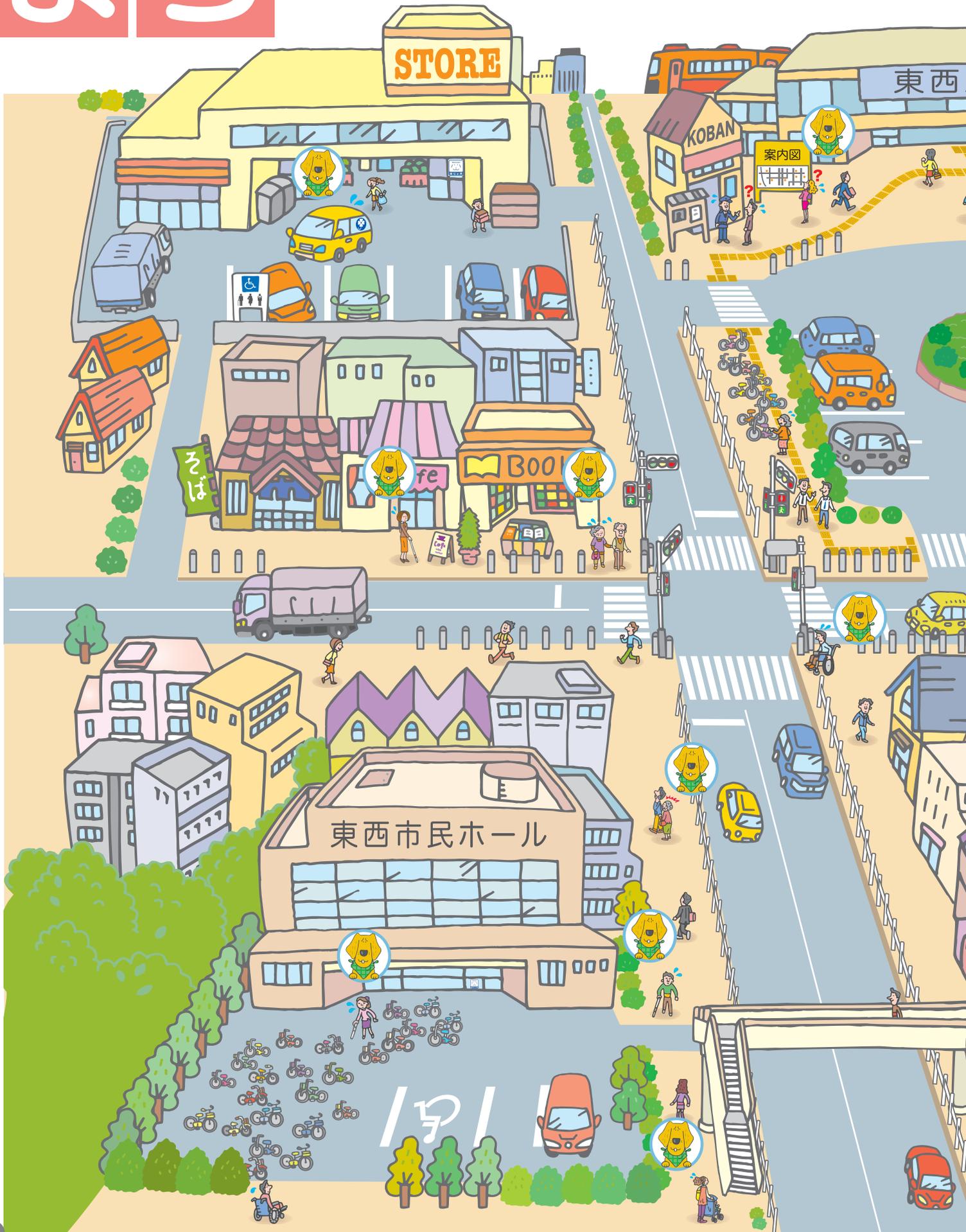
P19

ワークショップ

じっさい こうつう けんがく はな あ
実際に交通バリアフリーについて見学したり、グループで話し合ってみましょう。

P21

まち^でに出てみよう。

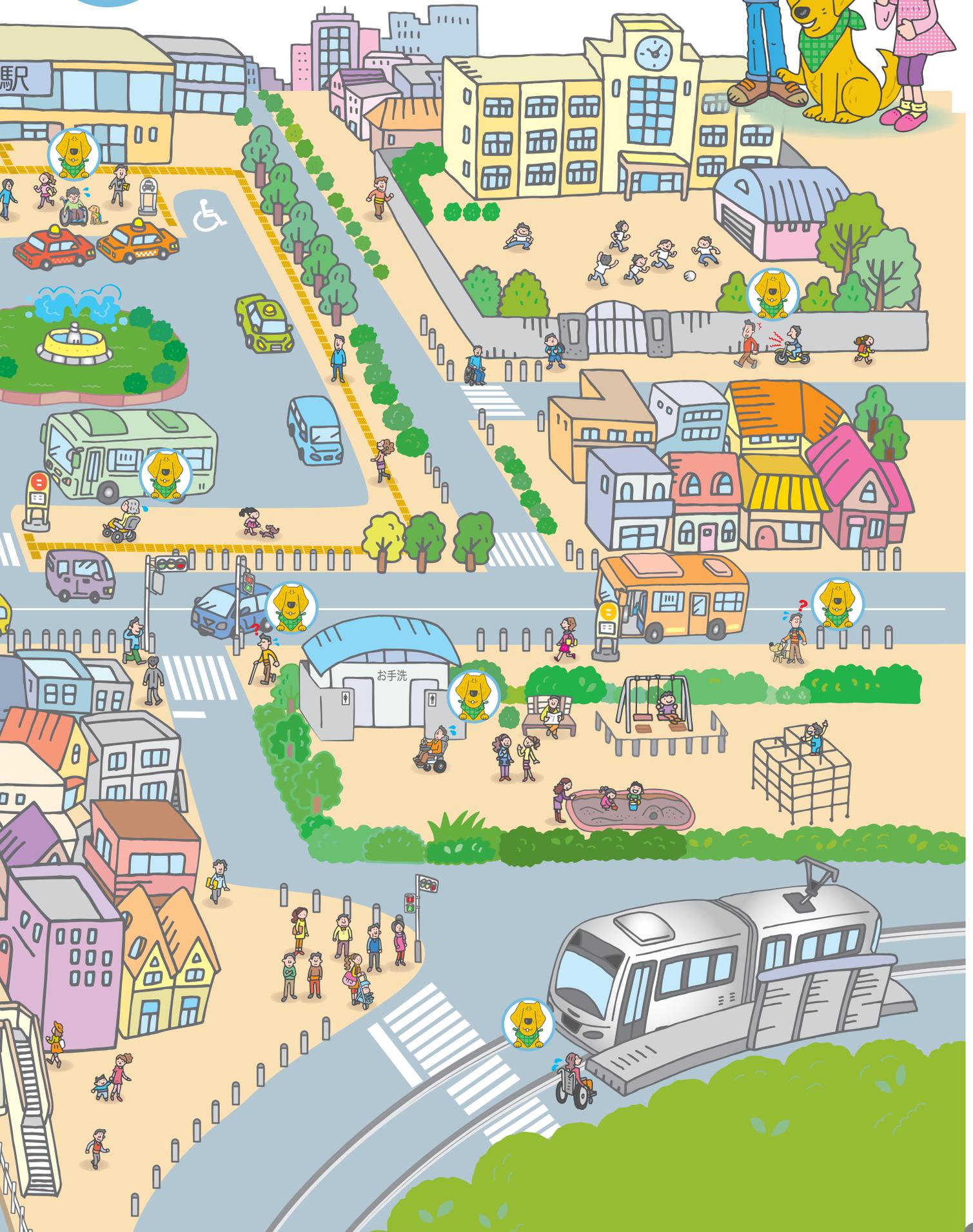




なか まちの中には、いろいろな**ばめん** **ふべん** **かん** **ひと**で不便を感じている人たちがいます。

ひと **ふべん** **おも**
どんな人が、どんなことで不便に思っているのかな。

かんが **はな** **あ**
みんなで考えて、話し合ってみよう。



まちの工夫と私たちにできること。



はば ひろ い ぐち ちか
幅が広く、入り口の近くにある
しょうがいしゃ ようちゅうしゃじょう
障害者用駐車場

ありがとうございます
案内図 MAP Good!
ちず か
地図を書きますね

じてんしゃ
自転車などが
ないほうが
ほこうしゃ
歩行者も
通りやす
くなります

あお じ かん えんちよう
青の時間を延長できる
しんごう
信号機

かんばん
看板などが
ないほう
がある
きやす
くなります

どうぞ

ひつよう
必要な
ところ
につな
がって
いる
てんじ
点字
ブロック

かいだん つか のほ お
階段を使
わず上
り下り
がで
きる
ほどう
きよう
歩道橋
エレベ
ーター

なら
きちんと
並べな
いと
とお
通れな
いよ



ハナちゃんのマークがあるところには、
いろいろな工夫くふうがされています。
どんな工夫くふう かんがが考えてみましょう。



アックン、ユーちゃんのマークのあるところには、
私たちができることが書かれています。
どんなことかんがが考えてみましょう。

ユニバーサルデザインタクシーなら、車いすの
ママや車いすと介助犬と一緒にのれます

点字ブロックがあること
で車いすが通りづらくなる
ことがあります

自転車が歩道を通る時
には、近づいても気がつ
かない人がいます。歩行
者に注意しましょう



ゆか ひく
床が低い
バス

どうざいえき
東西駅行きの
バスですよ

ありがとう

いっしょ
一緒に
わた
渡りましょうか

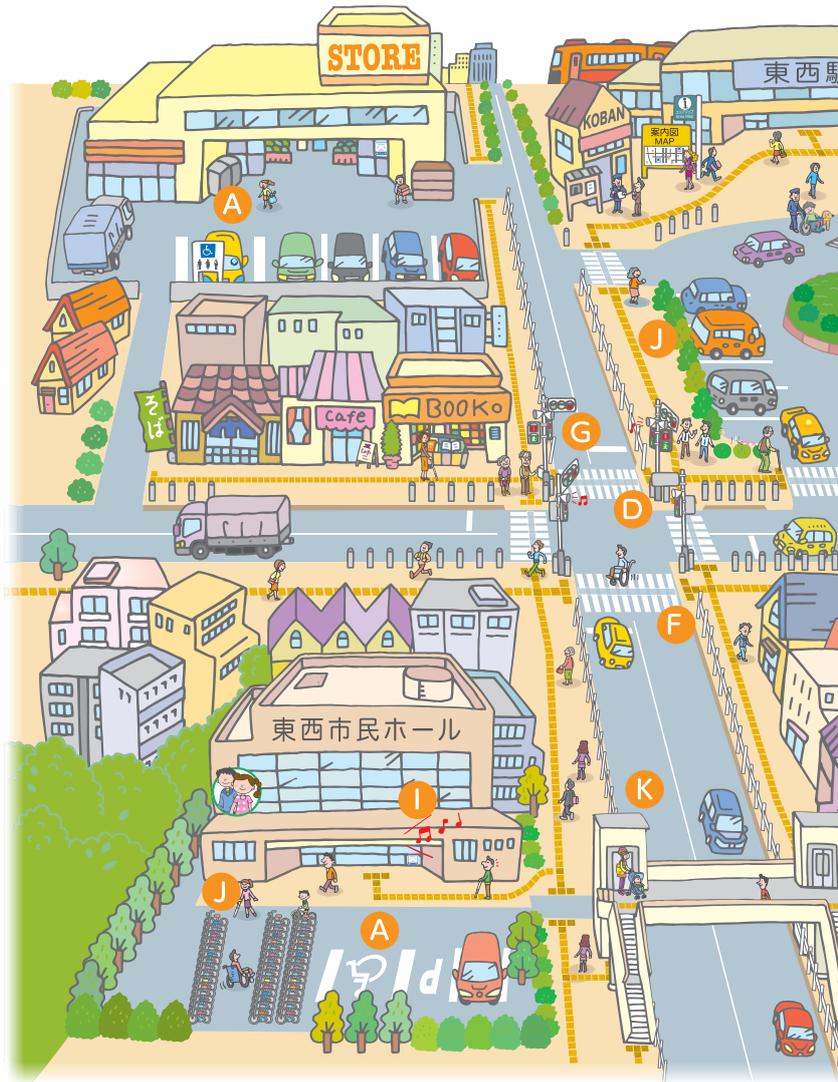
バリアフリー ワンポイント

まちにはみんなが便利に安全で安心して暮らせるように考えられ、
いろいろな工夫くふうがあります。さらに自分たちのできるお手伝いをす
ることで、もっと暮らしやすいまちになりますね。

まちにある工夫を見てみよ

A 障害者用駐車場

しょうがいしゃようちゅうしゃじょう
 くるまのおりやすいひろのちゅうしゃじょうみせで
 車から乗り降りしやすい広めの駐車場で、お店などの出
 入りぐちちかしょうしゅうひと
 入口の近くにあります。ベビーカーを使用している人、お
 としよりょう
 年寄りなども利用できます。



B 点字ブロック (視覚障害者誘導用ブロック)

てんじ しかくしょうがいゆうどうよう
 視覚に障害のある人が安全に歩くための道しるべで
 す。誘導ブロックと警告ブロックの2種類があります。
 じゃくしひとみきいろおおつか
 弱視の人でも見やすい黄色が多く使われています。



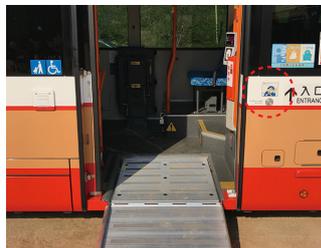
ゆうどう
 誘導ブロック
 すすまっこう
 進む方向をあらわす。



けいこく
 警告ブロック
 とまるところやまがる
 ところをあらわす。

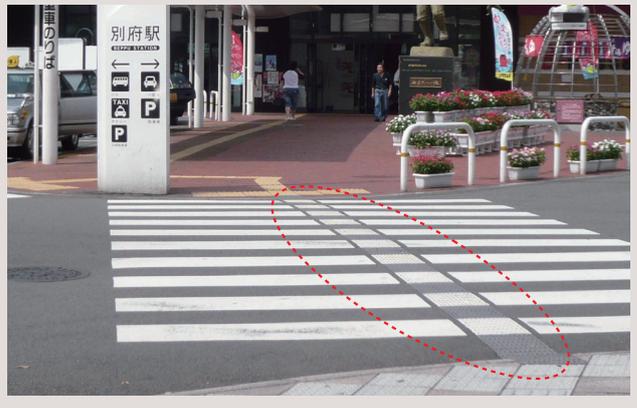
C バス停 (点字ブロックと音声)

てい てんじ おんせい
 バス停も点字ブロックで誘導しています。また、音声で行
 きさきあんない
 き先を案内しています。



D エスコートゾーン

しかくしょうがいひとおうだんほどうあんぜんわた
 視覚に障害のある人が横断歩道を安全に渡るための
 みちとくおうだんほどう
 道しるべです。特に、ななめになっている横断歩道では
 あんぜんわた
 安全に渡りやすくなります。



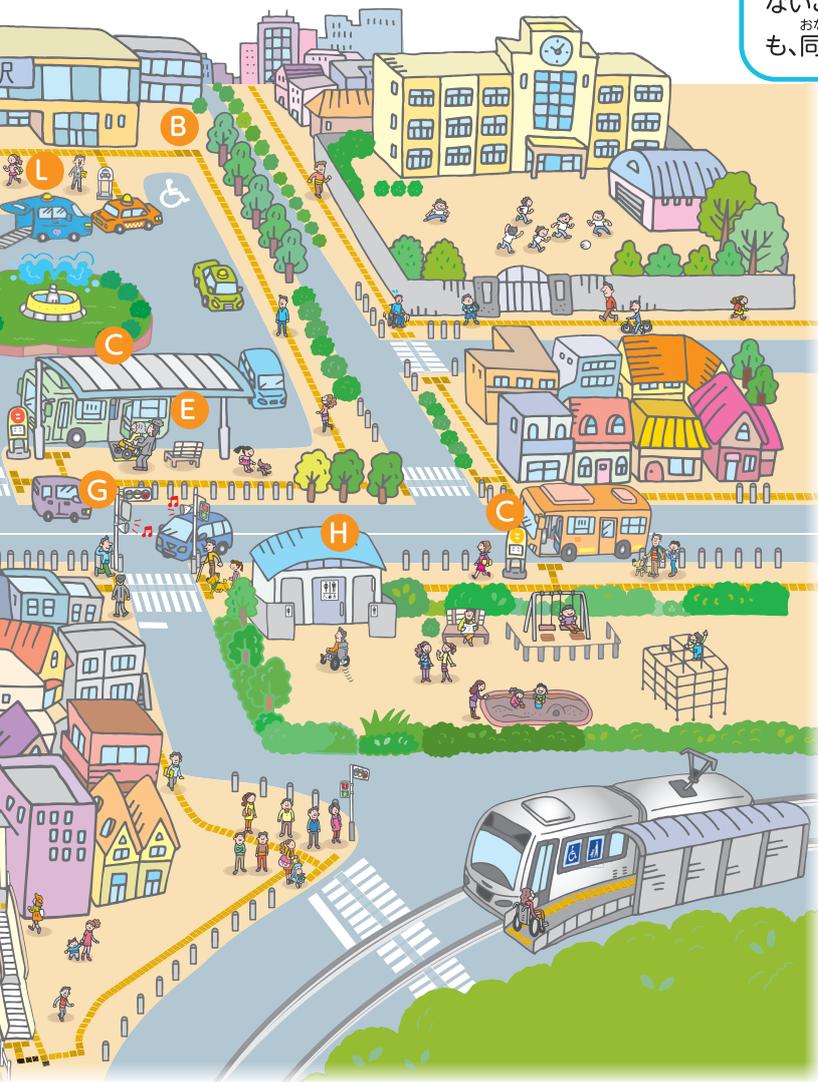
E バス (スロープ板)

→15ページを見てみましょう。

う。

バリアフリー ワンポイント

ちょうかく しょうがい ひと うし くるま じてんしゃ き き
聴覚に障害のある人は、後ろから車や自転車が来ていることに気づか
ないことがあります。また、スマホや音楽プレイヤーを使っている人など
も、同じように気づきにくくなります。



H 多機能トイレ

くるま りよう おお
車いすや、ベビーカーなどが利用しやすい大きめのト
イレです。ベッドや、内部障害の人(たとえばオストメイト※)なども利用できる設備がついています。



ちよう びようき しほじゆつ じんこうもん じんこうぼうこう ひと
※腸などの病気による手術により、人工肛門や人工膀胱をつけている人。

I 音による案内

たてもん い ぐち おと な しかく しょうがい ひと
建物の入り口で音が鳴っていると、視覚に障害のある人
も分かりやすくなります。

J 通り道の確保

どうろ と じてんしゃ とく しかく しょうがい ひと
道路に止められた自転車は、特に視覚に障害のある人に
は危険です。きちんと整理されていれば、だれもが歩きや
すくなります。

F 歩道の段差をなくす

おうだんほう どう しゃどう たか おな
横断歩道では歩道と車道の高さをほぼ同じにします。
とく くるま わた
特に、車いすやベビーカーは渡りやすくなります。



G 音による案内など

し かく しょうがい ひと ほこうしゃ
視覚に障害のある人に、歩行者
よう しんごう あお あか し
用の信号が青か赤かを知らせる
ために音が出ています。また、
ゆっくり渡れるように青の時間
えんちよう
が延長できます。



K エレベーター

くるま あんぜん い どう
車いすやベビーカーなどが安全に移動することができ
ます。壁が透明になっていると、エレベーターが止まった
とき かべ どうめい と
時など、聴覚に障害のある人が外にいる人に知らせる
ことができます。中の鏡は車いすが乗り降りする時に後
ろを確かめるためのものです。

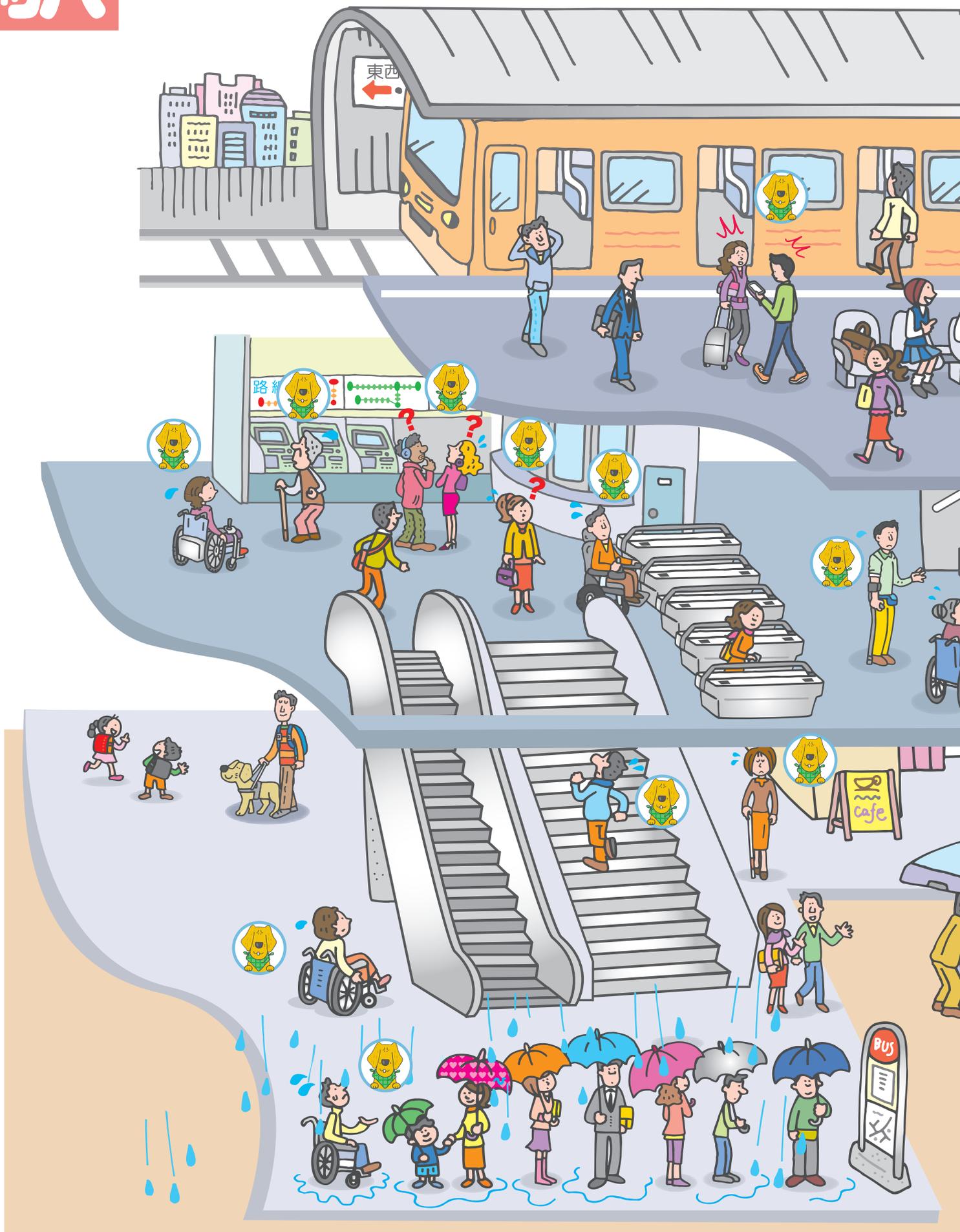


L タクシー

→16ページを見てください。

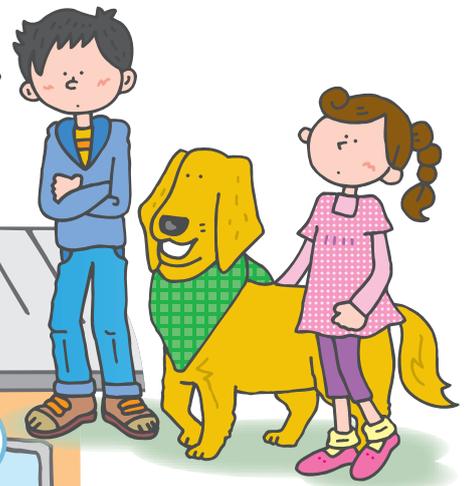
駅

い
に行ってみよう。





えき ばめん ふべん かん ひと
駅でも、いろいろな場面で不便を感じている人たちがいます。
ひと
どんな人が、どんなことで不便に思っているのかな。
かんが はな あ
みんなで考えて、話し合ってみよう。

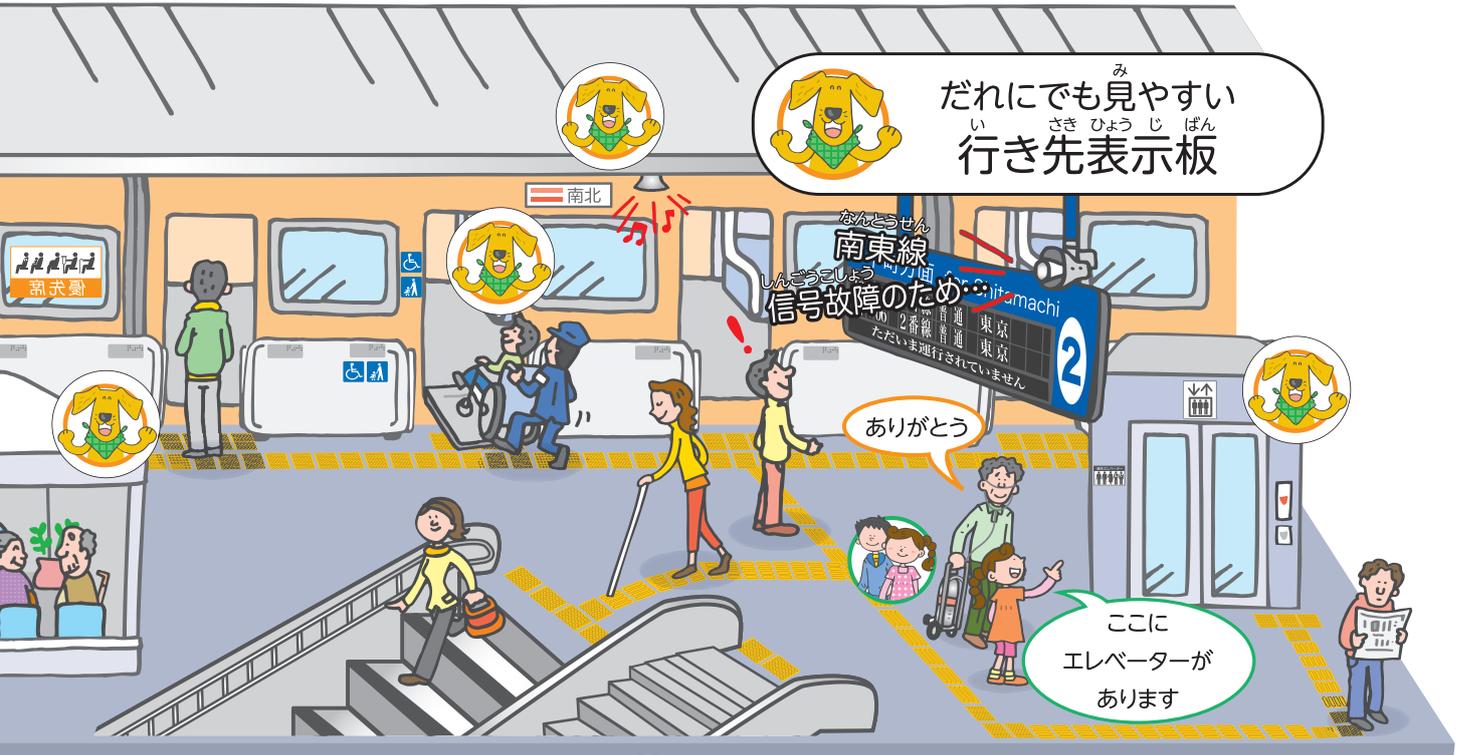




ハナちゃんのマークがあるところには、
いろいろな工夫がされています。
どんな工夫か考えてみましょう。



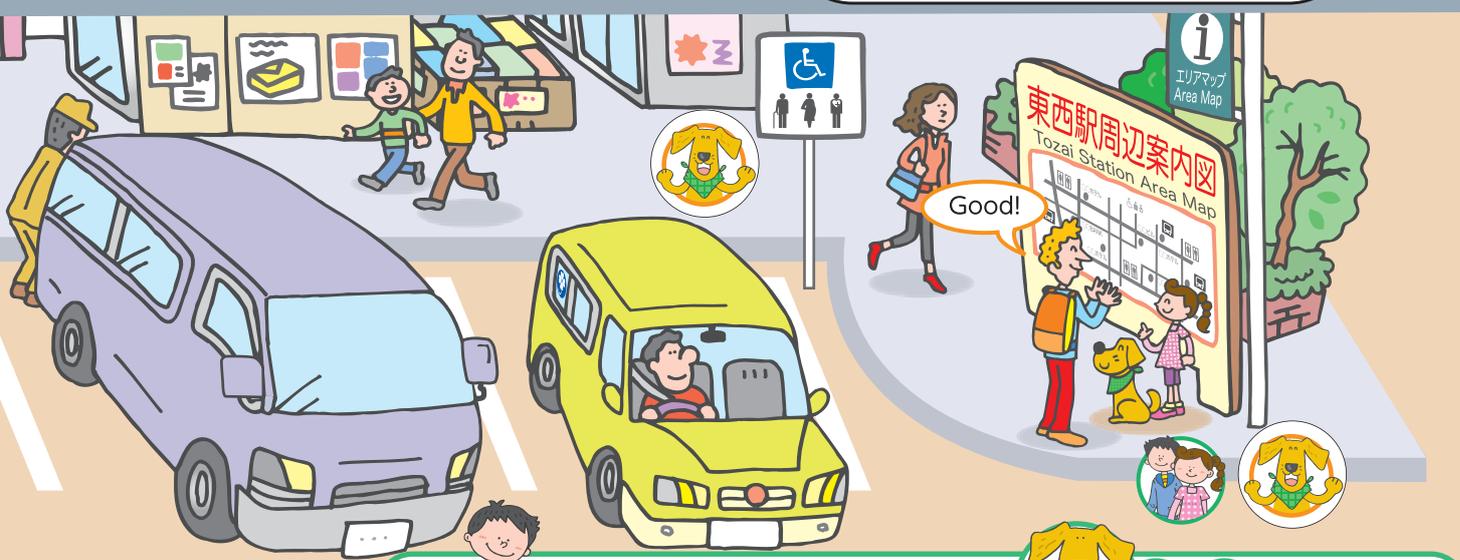
アツくん、ユーチちゃんのマークのあるところには、
私たちができていることが書かれています。
どんなことを考えてみましょう。



だれにでも見やすい
行き先表示板



みんなが使いやすい
多機能トイレ



バリアフリー ワンポイント

駅にはみんなが便利に安全で安心して利用できるように考えられ、いろいろな工夫があります。さらに自分たちのできるお手伝いをすることで、もっと駅が利用しやすくなりますね。

駅にある工夫を見てみよう。

A バス停

→ 7ページのCを見てみましょう。

B エスカレーター

「改札口行き上りエスカレーターです」という音声による案内が流れています。



C 階段

手すりにはさまざまな人が使いやすいように2段になっていて、端には行き先などを案内する点字がついています。階段の段の端(段鼻といいます)に色をつけ、弱視の人などが段を確認しやすくしています。



D 障害者用駐車場

→ 7ページのAを見てみましょう。

E 案内のためのサイン

電車の乗り場やトイレの場所などの案内です。遠くからでも見やすく、漢字が分からなくても理解できる図記号(ピクトグラム)も役に立ちます。



図記号(ピクトグラム)の例



F エレベーター

→ 8ページのKを見てみましょう。

G 人による対応

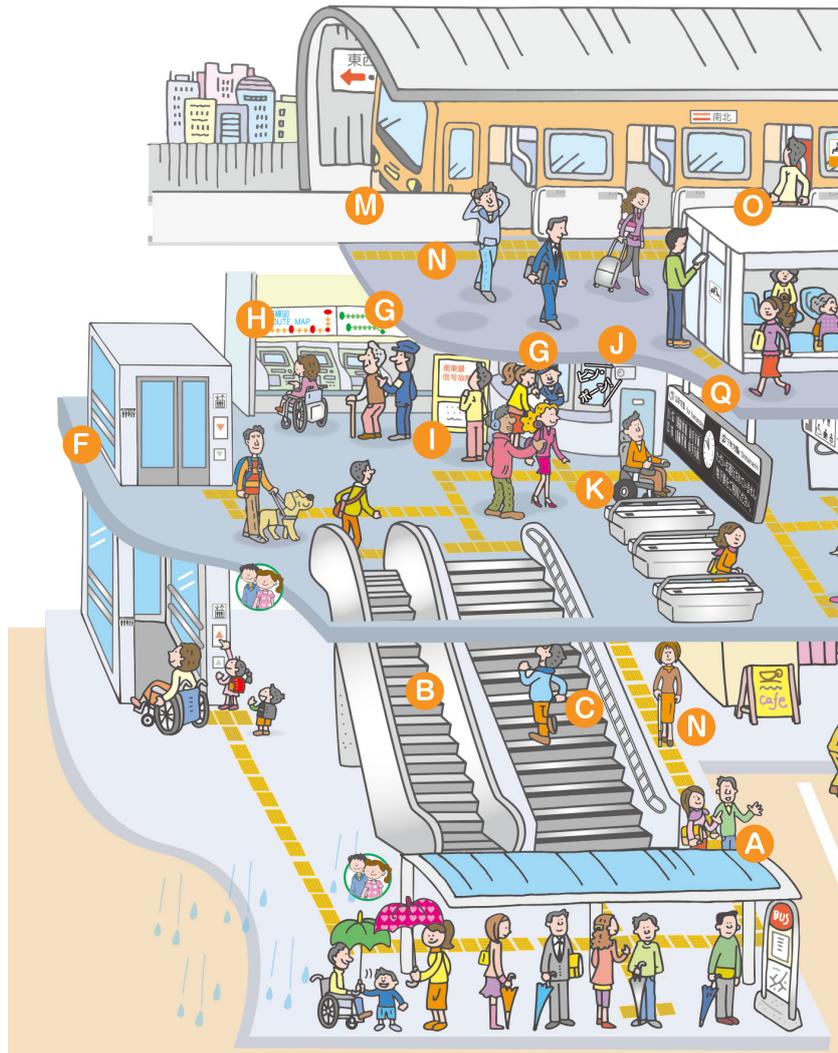
案内を専門にする人がいる駅もあり、だれでも案内してもらうことができます。日本語になっていない人や聴覚に障害のある人には、筆談による対応やコミュニケーション支援ボードなどを利用することもあります。



筆談用具



コミュニケーション支援ボードの例



バリアフリーワンポイント



ちょうかく しょうがい ひと うし ひと き こえ き
 聴覚に障害のある人は、後ろから人が来ていたり、声をかけられたりすることに気が
 かないことがあります。また、スマホや音楽プレイヤーを使って歩いている人なども、
 おな じょうきよう かくにん
 同じようにまわりの状況が確認できないことがあります。



K 幅広い改札口
 とお ぼしょ ひろ
 通る場所が広がっている
 くるま おお
 と、車いすやベビーカー、大
 きな荷物を持った人などが
 とお
 通りやすくなります。



L 多機能トイレ
 → 8ページの**H**を見てみましょう。

M ホームドア
 でんしゃ れんどう じどう
 電車のドアと連動する自動ド
 アがついているため線路に
 お しのばい
 落ちる心配がありません。



N 点字ブロック(視覚障害者誘導用ブロック)
 → 7ページの**B**や17ページを見てみましょう。

O 待合室
 まちあいしつ かいてき でんしゃ
 待合室があると、快適に電車
 を待つことができます。



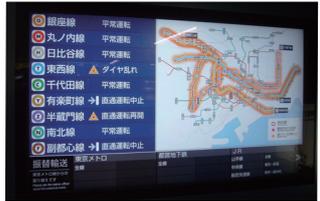
H 券売機
 けんばいき した けこ
 券売機の下にくぼみ(蹴込みとい
 います)があると車いすも利用し
 やすくなります。また、視覚に障害
 のある人は、音声案内を聞いてボ
 タンで金額を入力できるテン
 キーなどを使
 います。



P スロープ板
 でんしゃ あいだ だんさ
 電車とホームの間には段差
 と隙間があります。スロープ
 板を使うことにより車いす
 が安全に電車に乗れます。
 また、ほとんど段差も隙間
 もないホームには、スロー
 プ板の必要はありません。



I 情報表示
 でんしゃ おく とき
 電車が遅れている時などの
 案内を画面で見ることがで
 きます。

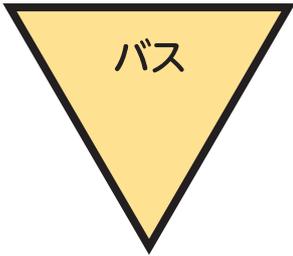


Q 行き先表示板
 ホーム上で次にくる電車の情報などを知ることができます。
 また、音声によるアナウンスもな
 がれています。



J 音による案内
 改札口の場所を知らせるために「ピン・ポーン」という音が
 なが
 流れています。

の 乗 物 には こん な 工 夫



ゆか ひく で いりぐち かいだん
床が低く、出入口に階段がないバスをノンステップバスといいます。
かいだん
階段がないので、安全で楽に乗り降りすることができます。

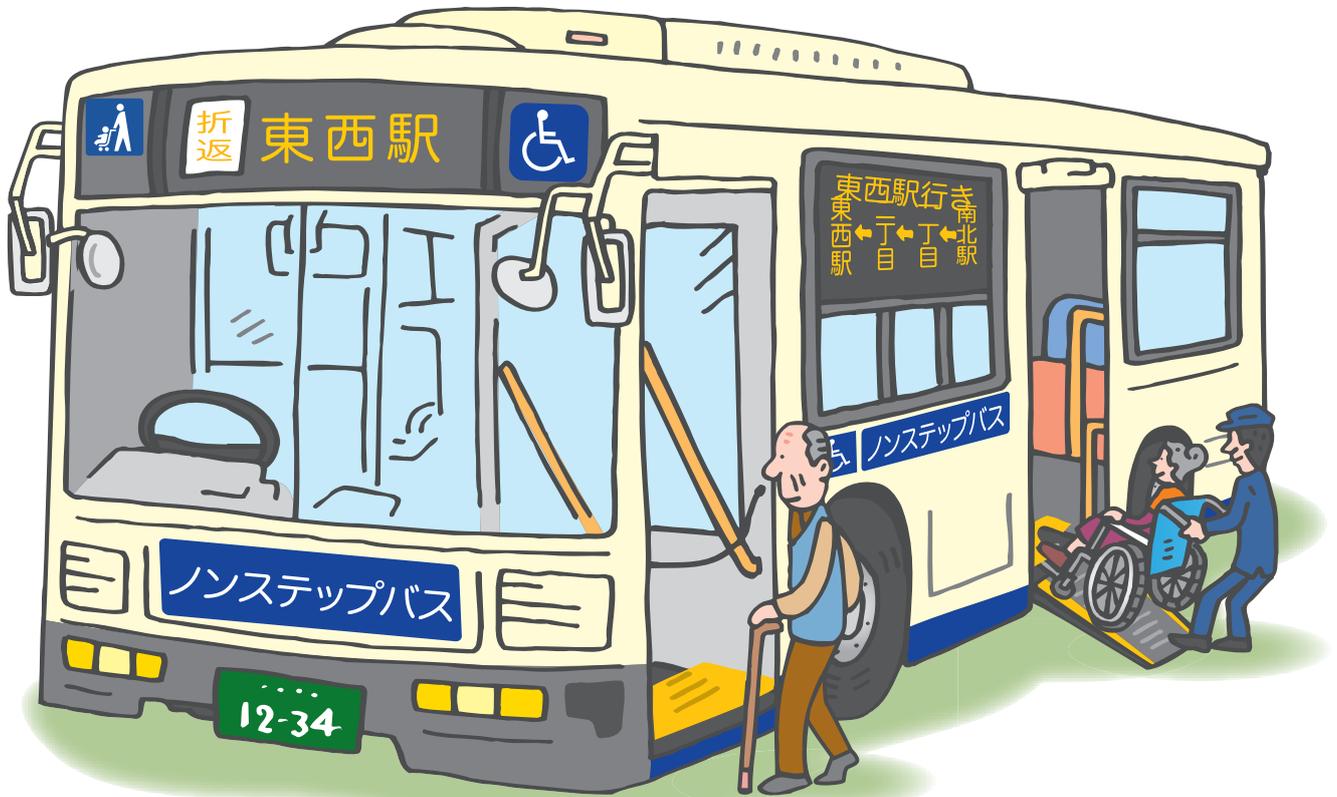


ニーリング

かたむ じめん でいりぐち だんさ ちい
バスが傾くことで、地面とバスの出入口の段差が小さくなり、乗り降りしやすくなります。

車外表示装置

しゃがいひょうじそうち
行き先や、どこのバス停に止まるかを確認できます。



ひょうじ
「ノンステップバス」の表示
そと み
外から見て、すぐにノンステップバスだと分かるように文字やマークがついています。



じょうこうぐち
乗降口
でいりぐち りょうがわ て
出入口の両側に手すりをつけることで、安全に乗り降りできます。



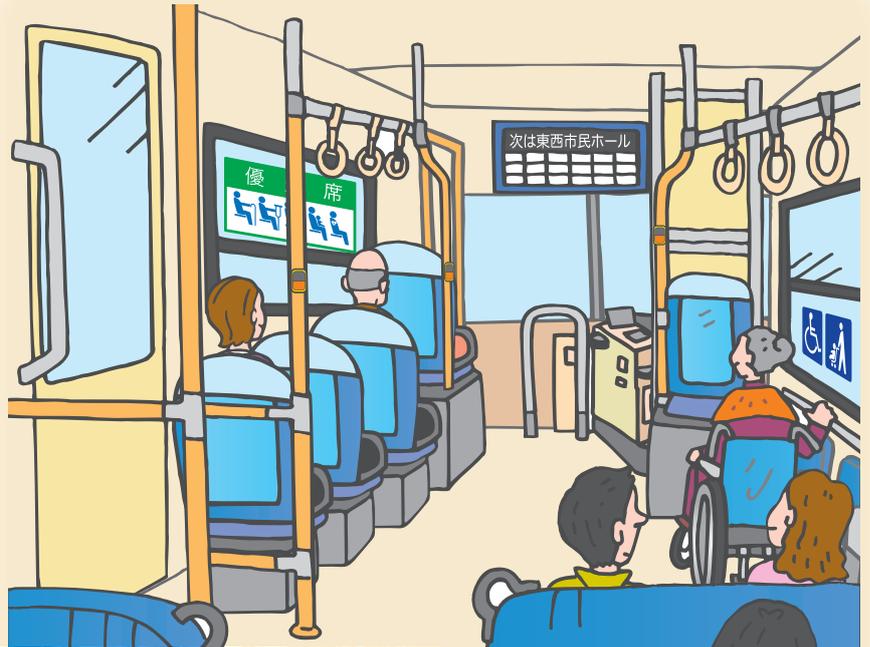
ばん
スロープ板
くるま の お
車いすが乗り降りするための渡り板です。

があるんだよ。

総合運動公園			西部図書館 Western Library
1	2	3	大学病院前 University hospital
2030	1030	590	郵便局 Post office
4	5	6	総合運動公園 Comprehensive athletic park
340	280	210	

行き先案内

次の停留所や運賃を文字で表示し、聴覚に障害のある人や日本語に話していない人にも分かりやすくしています。



手すり

すぐに見つけやすいように目立つ色(オレンジなど)になっています。



優先席

お年寄りやお腹に赤ちゃんがいる人などが優先的に座れる席です。ステッカーなどが貼ってあります。



車いすスペース

中扉のスロープから近い場所に車いすが固定できるスペースがあります。



車いすがそのまま乗り込むことができる車両です。



トヨタJPN TAXI



にっさん 日産NV200



でんしゃ
電車
しゃない
(車内)

ちか 近くのまちまで出かける時に乗る電車や地下鉄、特急や新幹線のように遠くのまちへ行くことができる列車があります。電車や地下鉄にはどんな工夫があるのかを見てみましょう。



車いすスペース
車いすが止まることができるスペースです。出入口近くにあり、また、ベビーカーを止めることもできます。



音声案内
次に到着する駅名などが音声アナウンスで流れます。また、ドアが開くのと一緒にチャイムが鳴り、ランプが点滅するものもあり、音とランプでドアの開閉を知ることができます。



案内表示
次の停車駅や開くドアの方向などを、ドアの上など見やすい位置にある画面で見ることができます。



優先席
お年寄りやお腹に赤ちゃんがいる人などが優先的に座れる座席です。他のシートと違う色だったり、網棚やつり革が低くなっていたりしています。

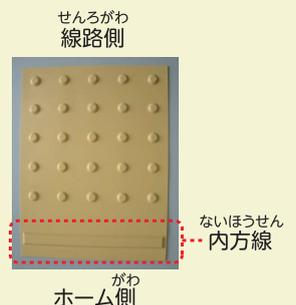
ろめん でんしゃ
路面電車
エルアルティアー
LRT

まちの中を走っている路面電車にも、利用しやすいように、さまざまな工夫がされています。



低床車両
スロープ(坂道)でホームにあがることができ、低い床で乗り降りしやすくなっています。

内方線付きブロック
ホームドアがないホームでは、内方線付きの警告ブロックで、どちら側が線路かホームかを分かりやすくしています。



LRT(エルアルティアー)とは、低床車両など新しい技術がとり入れられている新しい路面電車のことです。

くうこう
空港
ひこうき
飛行機

くうこう ひこうき なか ひと りよう くふう
空港や飛行機の中でも、さまざまな人が利用しやすいように工夫がされています。



ゆうせんせき
優先席

くうこうない きゆうけい
空港内で休憩するためのいすに
も、お年寄りやお腹に赤ちゃん
がいる人などが優先的に座れ
るいすがあります。

かどうしき
可動式ひじかけ

ひこうきない くるま すわ
飛行機内で車いすから座りや
すいように、手すりが動く座席
があります。

もくせいくるま

木製車いす

きない しようかのう
(機内も使用可能)

きんぞく つか
金属を使っていないの
で、金属探知機の検査を
そのまま受けられます。



きないようくるま

機内用車いす

ひこうき なか いどう
飛行機の中で移動する
ための車いす(アイル
チェア)です。



わ 分かりやすい空間づくり

かいだん なら じぶん りよう
階段、エスカレーター、エレベーターが並んでいるので、自分が利用
したいものが選びやすくなります。

ふね
船

ふね ひと りよう くふう
船にも、さまざまな人が利用しやすいように工夫がされています。



でいりぐち
出入口

くるま つか ひと としよ あん
車いすを使っている人やお年寄りが安
心して乗船できるスロープやタラップ
などがあります。



くるま ざせき
車いすスペースとバリアフリー座席

くるま お となり せき
車いすを置くスペースと、その隣の席
に乗り移れるように、手すりが動くバ
リアフリー座席があります。



あんないひようじ
案内表示

うんこう じようきよう かくにん
運行のさまざまな状況が確認で
きる画面がついています。

じていることもいろいろです。

不便ふべんに感じているいろいろなことかん

動うごくこと

歩けなかったり、移動することが難しくなったりします。
特に、階段の上り下りや段差の乗り越え、狭い通路の
通り抜けなどが大変なことがあります。

例えばこんな人がいます。

- ◎車いすを使っている人
- ◎杖を使っている人
- ◎お腹に赤ちゃんがいる人
- ◎ベビーカーを押している人
- ◎介助犬を連れてくる人
- ◎大きな荷物を持った人
- ◎お年寄り
- ◎子ども

聞きくこと

自動車のクラクションや緊急のアナウンス、行き先案内などが、聞こえなかったり聞こえにくいいため、不安や不便を感じたりすることがあります。

例えばこんな人がいます。

- ◎ろう者(全く聞こえない人)
- ◎難聴者(聞こえにくい人)
- ◎聴導犬を連れてくる人
- ◎補聴器をつけている人
- ◎手話を使う人
- ◎筆談用具を使う人
- ◎お年寄り

見みること

案内表示など、目で見える情報を得ることが難しく、場所を探したり、目的の場所に行くのに大変になったりすることがあります。

例えばこんな人がいます。

- ◎全盲の人
- ◎ロービジョン(弱視)の人
- ◎盲導犬を連れてくる人
- ◎お年寄り
- ◎子ども

伝つたえること

言っていることが理解できなかったり、言葉を発することが難しく、言いたいことを伝えられなかったりする人がいます。

例えばこんな人がいます。

- ◎日本語になれていない人
- ◎発声障害のある人
- ◎知的障害のある人
- ◎記憶障害のある人
- ◎言語・読み書きに障害のある人
- ◎お年寄り
- ◎子ども

その他にも、治すことが難しい病気にかかっている、特別な設備や医療用具などを必要としている人も多くいます。また、お腹にまだ小さな赤ちゃんがいて、外見では分からない人もいます。

例えばこんな人がいます。

- ◎内部障害のある人(心臓ペースメーカーを使っている人、オストメイトなど)
- ◎お腹に小さな赤ちゃんがいる人(初期)

ことばの解説

バリアフリー

さまざまな人が社会参加する上での障壁(バリア)をなくす(フリー)こと。

ユニバーサルデザイン

障害のあるなし、年齢、性別、人種などに関係なく、最初からさまざまな人が利用しやすいようにデザインする考え方。





WORKSHOP ワークショップ

さあ、次は実際に交通バリアフリーについて調べたり、
体験して、グループで話し合ってみよう。

① 問題をさがしてみよう

このワークショップで考えていくためのテーマ(問題となること)を決めましょう。

- ・さまざまな人たちが、どんなことに不便を感じているのかな。
- ・問題となることは何かな。

で 出かけてみよう

実際に駅やバスターミナルなどを見に行ってみましょう。

- ・調べに行く駅やバスターミナルまでの道のりを相談してみよう。
- ・どんな問題で不便を感じているのかな。また、どんな工夫があるのかな。見つけたり、聞いてみましょう。
- ・道路や駅前広場の工夫もよく見てみましょう。



き 聞いてみよう

家族や近所の人に話を聞いてみましょう。

- また、障害のある人に実際に話を聞いてみましょう。
- ・どんなことに不便を感じているのかな。
- ・どんなことに気をつけているのかな。
- ・どんな手助けがうれしいのかな。



② 話し合ってみよう

授業で勉強したこと、見たり聞いたりしたこと、体験したことを振り返ってみんなで話し合ってみましょう。

- ・もっと調べてみたいことや、さらに疑問に思ったことは何かな。
- ・もっと工夫できると思ったアイデアは何かな。
- ・私たちがこれからすぐにできることは何かな。
- ・新しく気づいたことや驚いたことは何かな。
- ・今まで間違えて覚えていたけれど、調べて分かったことは何かな。



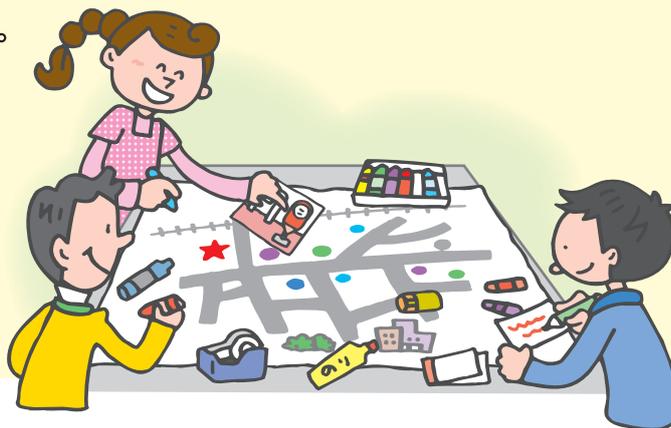
③ まとめてみよう

テーマ(問題となること)を他の班(人)に説明するためにまとめてみましょう。さらに、話し合った結果を整理してグループや個人で意見をまとめてみましょう。

・紙に書き出して、絵や写真をつけて説明できる

ようにしてみましょう。

- ・工夫された良いところや、問題のあるところは地図に印をつけたり、書き出したりしてみましょう。
- ・自分たちが考えたアイデアを整理してみましょう。



④ 発表してみよう

まとめた結果をおたがいに発表してみましょう。

- ・分かったこと、わからなかったこと、良いところ、もう少し工夫する必要があるところなど、伝えたいことを整理しましょう。

・聞いているみなさんに分かりやすく話しましょう。

・他の班(人)の意見を聞いてみましょう。

・各班の発表を聞いた後で、みなさんが気がつかなかったことや、

もっと良いアイデアを出し合ってみましょう。

・結果をウェブサイトに投稿してみましょう。



5

ワークショップのあとは…

実際に行動しよう!

みなさんの発表を聞いて、私たちにできることから始めてみましょう。

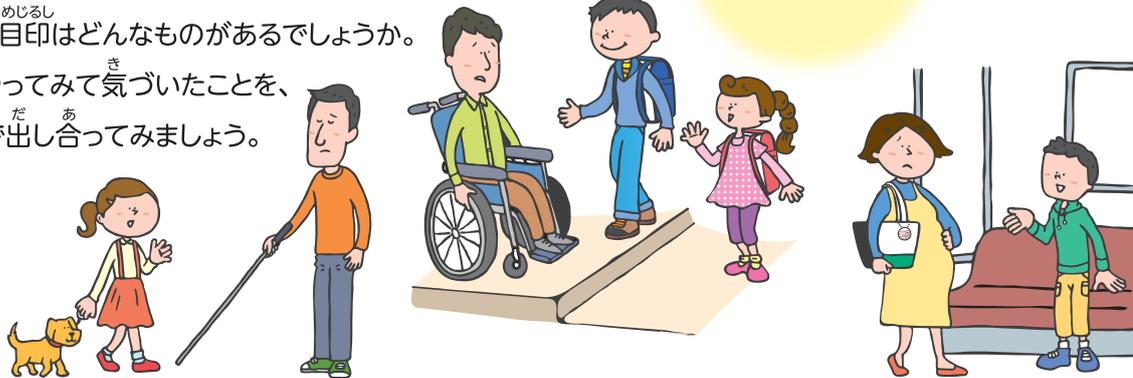
- ・私たちがこれからすぐにできることは何か。
- ・まちや駅などでできることを考えてみましょう。
- ・不便を感じている人にお手伝いをするきっかけになる

マークや目印はどんなものがあるでしょうか。

・実際にやってみて気づいたことを、

みんなで出し合ってみましょう。

てっだ
お手伝い
できることは
ありませんか。



ワークショップ: みなさんで気づいたことや理解したことを出し合って、さらにバリアフリーを進めるためにはどうしたら良いか、意見をまとめる作業をすることです。

不便を感じることを教えてもらい、実際に体験してみよう。

体験すると介助する人(サポート役)に分かれて体験してみましょう。途中で交代しましょう。
体験して気づいたことを書いたり話し合ったりしましょう。

視覚に障害のある人が

普段どのように歩いているか体験してみましょう

二人一組になって、アイマスクと白杖でサポート役の友達と一緒に歩いてみましょう。

サポート役の人は、アイマスクをしている友達が安心して歩けるようにするにはどうしたらよいか声をかけて聞いてみましょう。



車いすを使っている人が

普段どのように移動しているか体験してみましょう

手動車いすで学校の中をサポート役の友達と一緒に移動してみましょう。

サポート役の人は、車いすに乗っている友達が安心して移動するにはどうしたらよいか声をかけて聞いてみましょう。

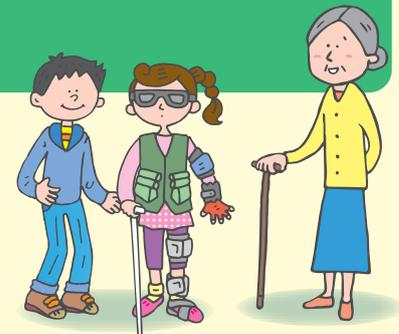


お年寄りの人がどのようなことに

不便を感じているかを体験してみましょう

おもりやメガネ、手袋、耳栓などをつけて歩いたり、黒板の文字を見たりノートに書いたりしてみましょう。

サポート役の人は、お年寄りの体験をしている友達が不安そうな時、どうしたらよいか声をかけて聞いてみましょう。



交通バリアフリーからともに生きる社会を学ぼう!

作成にあたり以下の方々にご協力頂きました。

中野泰志(慶応義塾大学)

桑山一也(東京都立文京盲学校)

桐谷正信(埼玉大学)

田村鮎美(東京都人権啓発センター)

高橋儀平(東洋大学)

中沖栄(清水書院)

藤野博(東京学芸大学)

望月庸光(共用品推進機構)

久保盛正(高砂市子ども育成会連絡協議会)

森川美和(共用品推進機構)

発行 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団
(<http://www.ecomo.or.jp/>)

〒102-0076 東京都千代田区五番町10番地 五番町KUビル3F

TEL.03-3221-6673 FAX.03-3221-6674

協力提供 日本航空株式会社 レシップ株式会社

写真出所 バリアフリー整備ガイドライン(旅客施設編、車両等編)

作成協力 (株)グリックス

印刷 □□□□□□

(順不同 敬称略 2018年度委員)

2019年3月 第7版発行



<http://www.bfed.jp>